

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構
平成26年度 第2回理事会議事録

1. 開催日時 平成26年9月19日(金) 10:30~12:30
2. 開催場所 スマート会議室 (郵政福祉虎ノ門第2ビル1階)
東京都港区虎ノ門2-9-8
3. 出席者
(理事) 代田 久米雄、田辺 功、藤垣 哲彦、堀内 龍也 松木 則夫
望月 正隆、安原 真人、山田 勝士、山本 信夫、吉田 武美
(監事) 三輪 亮寿、齊藤 勲
(顧問) 内山 充、
(来賓) 厚生労働省医薬食品局総務課 田宮 憲一室長
(事務局) 清水 亨事務局長、武立 啓子、鈴木 春美

4. 議案 (事前配付資料)

- ・第1号議案 P04 一般社団法人日本病院薬剤師会 特定領域認定薬剤師制度の承認に関する件

5. 当日配布資料

- (1) 第2回理事会議事次第
- (2) 公益社団法人薬剤師認定制度認証機構役員名簿

6. 議事概要

清水事務局長が開会を告げ、本日の出席者についての報告を行った。理事総数11名中10名が出席で、本機構の定款30条に基づく過半数に達しており、理事会は成立していることを告げた。併せて、本日は齊藤監事、三輪監事及び内山顧問が出席であること、厚生労働省医薬食品局総務課から、田宮室長が出席である旨を報告した。

理事会開始にあたって吉田代表理事の挨拶があった。

吉田代表理事挨拶の後、清水事務局長が当日及び事前配付資料の確認を行った。

次いで吉田代表理事が議長となり、議事次第に従って議事を進めた。

《審議事項》

- (1) 第1号議案 P04 一般社団法人日本病院薬剤師会特定領域認定薬剤師制度の承認に関する件

議長より、本議案について山田認証担当理事からの説明を求めた。事前配布資料（P04 評価結果総括報告書、別添 1～3）に基づき説明がなされ、山田理事からの説明があり、認証申請書は 15 名の認定制度委員に評価付託され、14 名が適であり、1 名が不適であったが、総合評価として、本特定領域制度は認証基準に適合していることから、承認したいと報告された。

質疑応答の後、議長より本提案について諮ったところ、全員異議なく認証事業実施要綱第 4 条第 2 項の規程に基づき P04 の新規認証を承認することとされた。

<関連事項>

第1号議案の承認に関連して、特定領域における認定証発行を申請団体や学会等の会員のみ限定するかどうかに関して、意見交換がなされた。薬剤師法の改正に伴う薬剤師の情報提供と服薬指導に関連した責任の事項も話題となった。上記の新規認定制度の認証の承認に当たって以下の関連意見が述べられた。本認定制度は、日本病院薬剤師会というわが国の大きな薬剤師機関からの申請で喜ばしいことである。本制度の認証は、日本病院薬剤師会が長年議論してきたものであり、重要な成果の一つである。これを機に認証機構の認知度を高める広報も必要ではないかとの提案があった。

《報告事項》

平成26年度第1回理事会で承認された正会員会費規程検討小委員会設置後の状況に関して、議長より報告がなされた。正会員会費規程検討小委員会の委員は、齊藤、望月、三輪、矢澤、山本各委員で、8月27日（水）13：30より第1回の委員会を開催した。配布資料は、G01会員からの文書書類、平成22年度臨時社員総会議事録、会費規程検証委員会報告書及び認定薬剤師発行枚数の推移図であった。これらの資料を下に検討が行われた。

その結果、薬剤師の今後の生涯学習のあり方や平成22年度の小委員会決定事項の受益者負担の件などに関して、再度相互に話し合いを進めることとされた。それに従い、G01との意見交換を行ったが、結論を得るには至っておらず、さらに話し合いを継続することになっていることが報告された。

7. その他

(1) 事務局長より次回の第 3 回理事会は 12 月 19 日（金）午前中に本スマート会議室での開催を予定していること、また当日午後に平成 26 年度認定制度委員連絡会の開催も予定していることを告げた。

(2) 三輪監事より、平成 26 年度の改正薬事法および改正薬剤師法に関連して、薬剤師の職務において、司法上の法的責任が重くなっていることについて、

日本病院薬剤師会での平成 26 年研修の資料を基に説明され、意見交換がなされた。

8. 閉会

以上の議事を終え、12 時 30 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、定款第 31 条第 2 項に基づき、出席した代表理事および監事がこれに記名、捺印する。

平成 26 年 9 月 19 日

代表理事 吉田 武美 印

監 事 三輪 亮寿 印

監 事 齊藤 勲 印